



教育目標

一人ひとりが 自分らしく育つ学校づくり

みんなの合言葉「やってみよう」「かかわろう」「感じよう・考えよう」

7月24日に、一学期の終業式を終えました。今年度は始まって間もない時期から、1年生から6年生まで一緒になって遊ぶ姿が見られ、谷地西部小学校の良さの一つである「25人が兄弟姉妹のような関係」がさらに強くなったように感じます。多学年が一緒に遊ぶ中で、自然と譲り合ったり、大目に見たりする心が育っています。また、運動会や児童会の取り組みを通して、「自分たちで学校をつくる」という気持ちも芽生え始めました。「自分たちで考えた企画でみんなが楽しんでくれた」という自己有用感が、やがて地域づくりや町づくりにつながっていくことを願います。

終業式では、夏休みだからできる「やってみよう」「かかわろう」「感じよう・考えよう」の体験をたくさんしてきてほしいと話しました。休み明け、さらにたくましくなった子ども達と会うことを楽しみにしています。

授業参観・PTA 研修会ありがとうございました

水泳授業の成果を7月17日の授業参観で保護者の方に見ていただきました。一人ひとりが自分のめあてを持って楽しく練習し、ぐんぐん上達する様子が見られた夏でした。ゴールめざしてがんばって泳ぐ子どもたちに、温かい声援が響きました。ご声援ありがとうございました。その後に行われた PTA 親子研修会では、山形県警察本部 主任少年補導専門官 安部直子氏を講師に迎え「SNS との関わり方」についてお話を伺いました。「自分には関係ない」「我が家には関係ない」とは決して言えない状況にあるのだということが分かり、親子で SNS とのかかわりを考える良い機会となりました。



う影るいすなるい本にびこ任は、しいで、普
見響な、°思人气的はまに伴、樂いのの、段、
守をど相個いを持に膨しが大うしまか、よ、子
っ考、手人を傷ち消た大うしまか、よ、子
学え子を情しつですな、切ことやせん私な、も
習いなど尊報たけ投こ労投でとに留意さだ、今、
支きがも重をりた稿と力稿あに、利、回、特、取、
援たらがしむすりしはがさる、消、を、用、く、S、に、り、端、
部いS自たやる、た難必れと意、ま、や、レ、
長とN分言みこみもし要たい、内、う、で、な、く、S、に、り、端、
思Sや動にとん、の、い、で、内、う、で、な、く、S、に、り、端、
阿いを他を公がな、で、あ、容、を、用、く、S、に、り、端、
部ま使者心開あがも、す、り、を、用、く、S、に、り、端、
洋すいへがしり不、消、を、用、く、S、に、り、端、
平、よ、の、け、な、ま、快、見、軽、基、す、る、責、S、に、り、端、

忘れないで「いかのおすし」 不審者対応訓練

不審な人に声をかけられた時の身の守り方について、山形県警察本部生活安全課の方から教えていただきました。不審な人とは距離をとること、怪しい誘いは、はっきり断ることを改めて確認することができました。また、元気な挨拶は、いざという時大声を出す練習になっているということを知り、校内で大きな挨拶の音が響くようになってきました。今後とも地域での子ども達の見守りをよろしくお願いします。



体に響く太鼓のリズム 風祭太鼓体験会

沢畑地区伝統の風祭太鼓の体験会を、地区の方のご協力のもと開催することができました。初めに若衆会の方々の太鼓を聞かせていただきました。子ども達は、体育館一杯に響く迫力の音色に聞き入っていました。その後は、一人ひとり指導を受けながらの体験です。風祭りに参加したことのある子どもも多く、リズムを思い出しながらあっという間に上達していました。



北谷地小との交流会

『白菜プロジェクト』始動



北谷地小学校との交流会を行いました。毎年実施していることもあり、久しぶりにお友達に会うことをとても楽しみにしているようでした。レクリエーションやスポーツで汗を流し、一緒に教室で学年ごとに学ぶことで、多様な考えに触れたり、親睦を深めたりすることができました。

河北児童動物公園、河北町の小中学校、仙台大学附属明成高等学校のコラボ企画『白菜プロジェクト』。伝統野菜である仙台白菜を河北町の子ども達が育て、河北児童動物公園の鳥たちの冬場の餌にしようというプロジェクトです。写真は、高校生から説明を受ける子ども達です。

学校だよりは谷地西部小 HP でもご覧いただけます。また、子ども達の日々の様子は、HP 内の学校ブログで紹介しています。「耕」タイトルの右端 QR コードからどうぞ！
登下校時の見守りや声かけに感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。